

より近く より深く より前へ

MONTHLY ZEN-NOH GUNMA

県本部通信

2・3

2017 合併号
February・March

No. 179



JA全農ぐんま



私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

事業のうごき 2

JA群馬担い手サポートセンター

- JA生産販売計画の実践支援
- 営農指導機能強化支援
- 農業経営管理支援
- 法人等担い手支援
- 出向く営農支援体制の強化と活動支援
- JA-TACの人材育成
- JAの野菜振興取組支援
- 農産物の安全・安心対策

畜産農産部

酪農畜産課

- 生乳の計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進
- 渋川家畜市場若齢子牛の集荷推進
(優良ET卵産子の活用促進)

米麦特産課

- きのか種菌・種駒推進
- こんにゃく荒粉・精粉入札販売推進

園芸部

園芸販売課

- 共計ほうれん草販売 (周年)
- 共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 共計味にら販売 (周年)
- 共計上州ねぎ販売 (2月末日迄)
- 共計春菊販売 (3月上旬迄)
- 共計土ねぎ販売 (3月中旬迄)
- 共計白ねぎ販売 (3月末日迄)
- 共計ブリックスナイン販売 (6月末日迄)
- 県統一規格共計きゅうり販売 (7月末日迄)

販売促進課

- 春野菜販売促進
- もやし類・加工野菜販売促進
- 花き類販売促進

園芸資材課

- 春用出荷資材予約推進 (ほうれん草・きゅうり・山うど・ふぎ他)
- 平成29年産青果物段ボール予約推進
- 温床資材予約推進 (農ビ・ポリ・マルチ他)
- 春用野菜種子推進 (ほうれん草・枝豆・とうもろこし他)

生産資材部

- 売出し・フェアの実施

☆花木流通センター

- 2月1日(水)～13日(月) フラワーバレンタイン
- 2月17日(金)～20日(月) 春一番園芸フェア
- 2月18日(土) 食肉市場上州牛・上州麦豚試食販売
JA農畜産物フェア(うどんフェア)
- 2月19日(日) 栽培講習会(じゃがいも)
管理機取扱講習会

- 2月1・8・15・22日(水) 水曜お米特売日
- 2月25日(土) 午前市

☆愛菜館

- 2月8(水)・18(土)・3月1日(水) 8の日お米特売
- 2月1・8・15・22日(水) 水曜肉の特売日
- 2月25日(土) 午前市

- 造園工事推進

肥料農業課

- セルフブレンド推進
- 蒔蒾肥料農業推進
- 茎葉処理除草剤大型規格推進
- 果樹農業推進

生活部

生活課

- 太陽光発電推進 (周年)
- 仕込み味噌推進 (10月～3月)
- 蔵出しいいよかん・せとか推進 (1月～2月)
- デコボン推進 (2月～3月)

葬祭総合課

- 会員獲得募集の推進 (周年)
- 生花利用拡大運動 (周年)

施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産(株)「新築そっくりさん」推進 (周年)

自動車燃料部

自動車センター

- バッテリー交換特別推進 (1月4日～2月28日)
- タイヤ交換特別推進 (2月4日～3月31日)



JAファーマーズ朝倉店起工式
(1.11 前橋市朝倉町建設予定地)

■朝倉町にJAファーマーズを起工

1月11日(水)、「JAファーマーズ朝倉店」の起工式が執り行われ、施主代行を務める当県本部の関係者も出席しました。JA農産物直売所とスーパーマーケットが一体となった「JAファーマーズ」の県内5つめの店舗です。同店は、農産物直売コーナーを店舗最大規模の150坪確保し、地産地消の大型拠点となることが期待されています。式典では、参加者による玉串奉奠、㈱エーコープ関東の織田社長による挨拶などが行われ、工事の安全を祈願しました。6月オープンの予定です。



JA-SS 冬のキャンペーン抽選会
(1.12 JAビル)

■豪華賞品当選者が決定！

1月12日(木)、JA-SS「冬のキャンペーン」の抽選会が須藤本部長、狩野副本部長ら関係者により行われました。このキャンペーンは、県内のJA-SSで11～12月の2ヶ月間実施されていたものです。商品は、店頭給油応募者が上州牛肩ロースすき焼き用・高崎ハム詰め合わせセット・赤城どり焼鳥セットのいずれか、配達灯油応募者が上州おっ切り込みご膳となっており、応募総数52,987枚の中から合計で1,000名の当選者を決定しました。



中古農業機械査定士制度技能検定試験
(1.18 JAぐんま研修センター)

■中古農機の適正評価広げ、生産コスト低減へ

1月18日(水)、「中古農業機械査定士制度技能検定試験」が行われ、県内JAの農機担当者20名が受験しました。(前年合格24名)この制度は、中古農機の利用を促進するため、平成26年3月に(一般社団法人)日本農業機械化協会により制定されたものです。今回の試験に合格した査定士により、今後適切な価格形成や状態確認が行われることで、良質で低コストな中古農機の流通が期待されます。



こんにやく大黒天祭
(1.19 諏訪神社)

■こんにやく振興を祈願

1月19日(木)、下仁田町の諏訪神社にて「こんにやく大黒天祭」が行われ、当県本部を含むこんにやく関係業者が多数参加しました。この祭りは、こんにやくの豊作や価格向上など業界全体の繁栄を祈願するために毎年開催されているもので、今年もこんにやく芋の祀られた祭壇で神事が執り行われました。また当日は、お札の販売や味噌田楽の無料配布、落語家の林家つる子氏による記念講演会も行われました。



第20回群馬県きのこ品評会
(1.24・25 群馬県庁)



平成28年度 施肥面談実習講習会
(1.25 JAビル)

■良質なきのこが勢揃い

1月24(火)～25日(水)、県・群馬県きのこ振興協議会・当県本部共催の「第20回群馬県きのこ品評会」が開催されました。この催しは、きのこの品質向上と消費拡大を目的に毎年実施されているもので、今年は生しいたけ・まいたけ・なめこなど8部門、計264点が出品されました。24日には審査が、25日には表彰式やきのこ汁の無料配布、初の試みとなる農水大臣賞・知事賞を受賞した生しいたけのせり売りなどが行われました。

■施肥面談の方法を学ぶ

1月25日(水)、土壌診断センター主催の「平成28年度 施肥面談実習講習会」が開催され、県内JAの営農経済担当者等24名が参加しました。講習は実践形式で行われ、参加者は4つの班に分かれ、土壌診断表に基づいた土壌改良材や基肥の設計・回答を作成。その後、各班の代表者2人が農家役の講師を相手に施肥面談を実演し、最適な肥料の推進や質問への対応などについて学びました。



◀カントリーエレベーターの審査の様子



ライスセンターの審査の様子▶

第10回共乾施設運営管理・環境整備コンクール
(1.25 ライスセンター・2.3 カントリーエレベーター)



第11回JA農産物検査員鑑定技術コンテスト
(1.27 JAビル)

■施設の運営体制を確認

群馬県農協穀類乾燥調製(貯蔵)施設協議会の主催により、共乾施設の適切な運営管理と環境整備・作業の安全・品質事故の防止などを目的とした「第10回共乾施設運営管理・環境整備コンクール」が開催されました。1月25日(水)にライスセンターの部、2月3日(金)にカントリーエレベーターの部が行われ、審査員は県内JAの施設を巡回し、運営体制や整理整頓状況などを審査しました。

■玄米検査技術を競う

1月27日(金)、農産物検査員の鑑定技術向上を目的とした「第11回JA農産物検査員鑑定技術コンテスト」が開催され、各JAの検査員24名が参加しました。会場には、水稻うるち玄米・水稻もち玄米・小麦の鑑定試料50点が並び、参加者は目視により品位(等級)・銘柄を鑑定しました。競技の結果、成績上位だった以下の2名は3月10日(金)に千葉県で行われる全国大会へ出場します。

1位	JA前橋市	湯澤 勝博	2位	JA太田市	植木 伸晃
----	-------	-------	----	-------	-------



洋蘭フェア
(1.28 花木流通センター)

■ 洋蘭各種大特価で販売

1月28日(土)、毎年好評の「洋蘭フェア」が花木流通センターのふらわーらんどで開催されました。売り場には、胡蝶蘭を始めシンビジウム・テンドロビウム・カトレアなど定番品種から珍しい品種まで、大小様々な蘭が所狭しと並べられました。良質な蘭が全て大特価で購入できるとあり、自宅用・贈答用と複数鉢買い求めるお客様も多く、会場は大いに賑わいました。



新春相続税対策セミナー
(1.29 JAビル)

■ 生前の対策で相続税をゼロに

1月29日(日)、施設住宅課主催の「新春相続税対策セミナー」が大ホールにて開催され、組合員とその家族約90名が参加しました。当日は、島津会計税理士法人東京事務所長の岸田税理士を講師に迎え「相続対策、生前対策の進め方」をテーマに講義が行われました。まず、相続税対策として生前贈与や小規模宅地等の評価減の特例などについて紹介。その他、賃貸経営・不動産投資のポイントについても説明が行われ、参加者は将来を見据え熱心に受講していました。



第9回群馬県産上州和牛枝肉共進会褒章授与式
(2.10 渋川家畜市場)

■ 優れた肥育技術をたたえる

2月10日(金)、渋川家畜市場において1月23日(月)に開催された「第9回群馬県産上州和牛枝肉共進会」の褒章授与式が執り行われました。渋川家畜市場に上場され、県内にて肥育された黒毛和種36頭の中から、厳正な審査により優秀な枝肉を決定しました。最優秀賞を受賞した枝肉の生産者と子牛の繁殖者は以下のとおりです。(株)加藤ファームは3年連続での受賞となりました。

肥育者	JAにったみどり (株)加藤ファーム	繁殖者	JA利根沼田 原澤 典雄
-----	-----------------------	-----	-----------------



JAグループ群馬の取り組みに関する会長記者会見
(2.10 JAぐんま研修センター)

■ 自己改革の取り組み状況を説明

2月10日(金)、「JAグループ群馬の取り組みに関する会長記者会見」が行われ、各連合会の役員等が出席しました。会見では、当県本部が3月に開設し、初妊牛の生産販売および採卵受精卵販売をする育成牛センターの概要説明やきゅうりの出荷が始まった園芸作物生産実証農場の成果報告が行われました。また、大澤会長は自己改革の取り組み状況について、「改革初年度として、職員の意識改革ができた。」と話し、今後への期待を示しました。



平成28年度 群馬県こんにゃく実績検討会
(2.13・14 伊香保町ホテル木暮)

■こんにゃく栽培の今を知る

2月13日(月)～14日(火)、「平成28年度 群馬県こんにゃく実績検討会」が伊香保町のホテルにて開催され、群馬県こんにゃく研究会員・県・団体関係者等約180名が参加しました。当検討会は、こんにゃく研究会員の資質向上と経営改善を目的に毎年実施しているもので、今年は第43回県こんにゃく立毛共進会の表彰式や受賞者5名による経営実績発表、流通・技術に関する情報提供、4種類のアシストスーツの実演会等が行われました。

■TAC活動の活性化に向け

2月15日(水)、JA群馬担い手サポートセンター主催の「平成28年度 群馬県JA-TAC交流会」が開催され、県内JA・当県本部の関係役職員等約80名が参加しました。交流会では、優れた活動を実施したTAC担当者・JAに対し、表彰状と副賞が贈呈されました。また、受賞者による事例発表、農業ジャーナリストの小谷氏による基調講演も行われました。優秀表彰者は以下のとおりです。

TAC担当部門

JA前橋市	吉田 友駿	JAはぐくみ	下平 将成
JAたのふじ	高見 友里恵	JA甘楽富岡	野口 瞬
JA利根沼田	高橋 敏行		



平成28年度 群馬県JA-TAC交流会
(2.15 新前橋ラシーネ)

JA部門

JA佐波伊勢崎

組合員のみさまへ

新茶

玉翠 1kg(157g×68)

白楽 1kg(157g×68)

紫鳳 1kg(157g×68)

プレミアム紫鳳 1kg(157g×68)

このお茶は、水・水定製をしません。しかも真空状態で密封されています。開封後は、常温で保存してください。

開封後は、茶葉にとって大敵の湿気・多湿を防ぐため、冷蔵庫に保管の上、密封した状態で保存してください。また、開封後は10日以上保管する場合は、茶葉や茶葉をビニール袋に入れ冷蔵庫に保管することをおすすめします。

『エコーブ銘茶』ってどんなお茶?

JAグループが半世紀にわたって育んできた「美味・安心・おいしい」自慢の銘茶ブランドです。

おいしい理由

- 成分充実した生葉
- 八十八夜前後に摘み取られ、すぐに出荷される新鮮な生葉を使用しています。
- 伝統と熟練の技術
- 新鮮な真空パック

お買い得理由

- 結果メリット発掘
- 組合員・利用者の皆さんのAへの結果によって大量に取られているブランドです。
- 製造コストの削減
- エコーブは、JAグループの協力により、生産者・消費者の双方に利益をもたらす仕組みです。
- 流通コストの削減
- JAグループは、メーカーの協力により、物流・流通の合理化をはかり、流通コストを大幅に削減しました。

安心の理由

- 残留農薬定期検査
- 定期的な残留農薬・添加物の検査を実施し、安全性の確保と自然な風味の保持に努めています。
- ISO9001の認証を取得し、全工場より完璧な品質管理を行っています。
- GAPへの取組
- JAグループは、生産者の栽培方法の改善と生産物の品質向上に努めています。

夏は冷茶がおすすめ!!

- 10Lの冷茶がパックに10g(大さじ2杯)の茶葉を入れる
- 水1Lを入れかき回す
- 冷蔵庫で冷やす(約1時間)
- 茶葉は入れっぱなしで大丈夫、すぐ飲んでもOK
- 2日目まで美味しく飲めます(10gの茶葉で2Lの冷茶が作れます)

ポイント

- 冷水で入れる場合、茶葉は入れっぱなしで大丈夫、すぐ飲んでもOK
- 2日目は、そのまま利用できます。

—お問い合わせ先—

JA全農ぐんま 生活課

TEL 027-220-2351

FAX 027-220-2324

みどりの風 放映予定

番組名/提供	放送日※再放送日	時間
「ごはん・お米とわたし」 作文・図画コンクール/JA群馬中央会	3月6日(月)	PM9:00～9:30
	※3月12日(日)	AM8:00～8:30

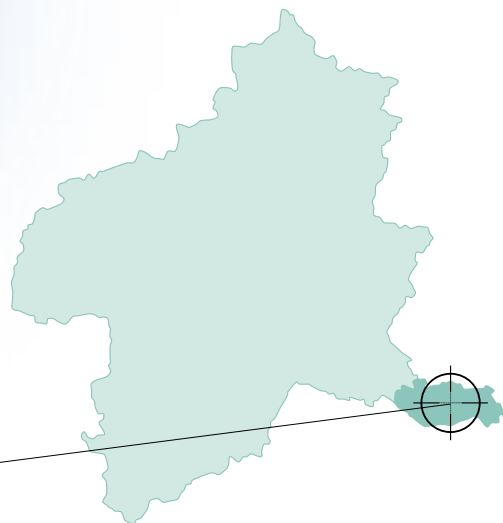


山部 朱里アナ

GTV 48ch 放映のお知らせ

農業 チャレンジャー

JA邑楽館林



新鮮・良質なきゅうりを消費者へ届けたい

JA邑楽館林管内 野村 充由 さん



野村 充由
(のむら・みつよし) さん

1977年生まれ、39歳。
JA邑楽館林青年部
朝穫り研究会に所属。
小学生にきゅうり栽培について
教える食育活動にも取り組む。
3児の父

趣味：サッカー

栽培面積

きゅうり	20a
米	400a
白菜	30a
にがうり	30a
キャベツ	30a
とうもろこし	20a
ちぢみほうれん草	20a

農業の難しさを痛感

今回のチャレンジャーは、JA邑楽館林管内できゅうりを始めとする野菜と米の生産をする野村さんです。もともとシステムエンジニアとして勤務していましたが、30歳のときに家業である農家を継ぐことを決意したそうです。「システムを組む技術を農業に適用すれば、設計通りうまくいくという自信を持っていたんです。でも実際始めてみるとそう単純ではなく、うまくいかないことだらけでした。」と当時を振り返ります。ご両親の指導のもと、日々変化する状況に臨機応変に対応しながら技術を習得してきたそうです。「思い通りにいかない大変さがありますが、それが農業のおもしろい所でもあります。」と、当初の苦労も今ではやりがいに変わっています。

朝採りきゅうりを首都圏へ

今(2月)は12月に定植したきゅうりの収穫期。館林地区では、1月から6月と9月から11月の年に2回収穫期を迎えます。

野村さんは、JA邑楽館林「朝穫り研究会」に所属し、きゅうりの朝採り・朝出荷に取り組んでいます。研

究会では、午前10時までに出荷することで、その日のうちに首都圏の売り場での販売を実現しています。「県外の方にもこの地域の新鮮なきゅうりを食べてもらえるのは嬉しいですし、農家にとっても高値で売れるので助かっています。」と活動意義を話します。現在約60名の生産者が一丸となって朝採りに励んでいます。

効率的な栽培を目指して

多品目栽培を行っている野村さんのお宅では、収量よりも秀品率を上げることに力を入れているそうです。「品質が良く単価の高いものを安定的に生産することが目標です。そのためには日頃からこまめな手入れが欠かせません。」と意気込みます。

今後の展望について何うと、「この先、栽培規模の拡大も考えています。仕事は増えますが、そこで単純に人を雇うのではなく、総合的に作業を見直すことで無駄を省き、効率化を図っていきたいと思っています。今後も家族力を合わせて頑張ります。」と話してくれました。鮮度と品質への強いこだわりを持ち、熱い思いで取り組む野村さん。今後ますますの活躍が期待されます。



1「朝採りの新鮮なきゅうりをぜひ食べてほしいです。」と野村さん。

2収穫を待つおいしそうなきゅうり。出荷は1月から始まり、6月まで続きます。

3ハウス内の様子。病害虫の防除には特に気を使うそうです。

4今が旬のちぢみほうれん草。収穫はご両親が担当しています。

がんばってまーす!

INTERVIEW

JAはぐくみ
営農部 営農販売課

福田 雷蔵さん

Profile

ふくだ・らいぞう（35歳）

休日の過ごし方……………読書・映画鑑賞
好きな映画……………007シリーズ・ゴジラシリーズ
好きな食べ物……………ラーメン

●職場の皆さんからみた福田さん

「JAに来てまだ間もないとは思えないほど、すっかり職場に馴染んでいます。いつも真面目で、地場産農産物の担当も一人でしっかりやってくれています。今後の活躍にも期待しています!」

「目指すは農家さんの所得向上です!」

——入組して何年目ですか？

1年4か月です。以前は異なる業種で働いていたのですが、両親のすすめもあり、昔から馴染みのあったJAへ転職しました。

——現在のお仕事内容を教えてください。

JAはぐくみ地場産協議会の運営をメインに行っています。具体的には、インショップ型の地場産コーナーへの出荷代行やお客さんに目を留めてもらえる売り場作り、販促活動などです。

——「インショップ型の地場産コーナー」について教えてください。

スーパーや量販店内の一角で、地元の農家さんが栽培した野菜等を販売しているコーナーです。現在、JAはぐくみ管内の5店舗で実施しています。

——まさに地産地消ですね！

はい。やはり地元で採れた野菜は、新鮮なうちにその地域の方に

味わってもらうのが1番です。

——どんなことに力を入れて取り組んでいますか？

お客さんのニーズを知るため、年間における量販店毎の商品の動きを把握する事に努めています。時期によっては品目に偏りが出たり、品薄になってしまったりもするので、ゆくゆくはTACと連携して農家さんへの作付け推進なども図っていききたいと考えています。

——どんな時にやりがいを感じますか？

売り場でお客さんと話すと、特定の農家さんの作る野菜のファンであることがわかったりします。そのように、お客さんの反応が直接感じられると楽しいですね。

——趣味は読書とのことですが、どのような本を読まれるのですか？

隆慶一郎の時代小説が好きで

す。娯楽性が強く読みやすいのでおすすめです。

——では、最後に今後の意気込みをお聞かせください。

頼りにされるJA職員となるため、農家さんと積極的にコミュニケーションを取り、信頼関係を築いていきたいと思っています。今後も皆さんにとってメリットのある提案をし、所得向上につなげられるよう頑張ります!

——福田さん、これからも地場産農産物の魅力を多くの人に伝えていってください。ありがとうございました!



▲地場産コーナーの売り場作りをする福田さん

畜産ダイジェスト

酪農情勢

■生乳生産量

農林水産省は1月25日に12月の牛乳乳製品統計を公表した。12月生乳生産量は60万9,935tで前年比1.7%減少した。

北海道は32万2,184t(前年同月比1.9%減)で生産量の全国シェアは52.8%となった。

都府県の生産量は28万7,751tとなり、前年同月比で1.4%減少した。

■販売及び乳製品情勢

12月の用途別処理量は、牛乳等向けが31万2,143t(前年同月比0.3%増)、乳製品向けが29万3,579t(〃3.6%減)となった。

飲用牛乳等生産量は28万0,306kl(〃0.6%増)で前月から0.5ポイント減少し、うち牛乳が24万4,095kl(〃0.9%増)であった。また、乳飲料は9万1,014kl(〃3.8%減)で前月から4.1ポイント増加した。

生乳生産量と用途別処理量

(単位：t、%)

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
生乳生産量	全 国	630,407	653,358	626,316	631,311	610,433	585,529
	群馬(委託実績)	18,310	18,703	17,604	17,590	17,121	16,449
	本会(委託実績)	5,911	5,883	5,426	5,373	5,204	5,091
用途別処理量	飲用牛乳等向け	323,332	350,076	350,374	345,246	328,834	349,140
	乳製品向け	302,614	298,934	271,712	281,816	277,349	232,045
	その他向け	4,461	4,348	4,230	4,249	4,250	4,344
前年対比	生乳生産量(全国)	100.9	100.7	100.3	100.4	100.3	98.8
	〃(群馬)	98.8	98.3	98.6	99.9	99.6	99.6
	〃(本会)	99.3	96.2	94.9	96.9	98.2	98.5
	飲用牛乳等向け	100.3	100.8	100.4	102.1	101.9	103.3
	乳製品向け	101.6	100.7	100.3	98.6	98.6	92.7
10月		11月	12月	1月	2月	3月	計
600,456		579,383	609,935				5,527,128
17,068		16,458	17,241				156,543
5,297		5,090	5,338				48,614
350,372		330,258	312,143				3,039,775
245,507		244,881	293,579				2,448,437
4,577		4,244	4,213				38,916
99.5		98.5	98.3				99.7
100.5		98.4	97.7				99.0
99.5		97.8	96.4				97.5
101.9		100.5	100.3				101.3
96.3		95.9	96.4				97.9

肉牛情勢

肉牛枝肉相場(2月予想)：牛肉相場は、売れ行き鈍く下げ。

肉牛枝肉相場(予想)

・和牛去勢A5	2,800円中心	・和牛去勢A3	2,350円中心	・交雑去勢B3	1,650円中心
・和牛去勢A4	2,550円中心	・和牛去勢A2	2,050円中心	・交雑去勢B2	1,450円中心
		・交雑去勢B5	1,900円中心	・乳牛去勢B2	950円中心
		・交雑去勢B4	1,850円中心		

枝肉価格の推移(群馬県食肉卸売市場)

(単位：円/kg、税込み)

年・月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・計
和牛去勢A4	27年-28年	2,283	2,349	2,252	2,255	2,349	2,395	2,455	2,539	2,754	2,645	2,640	2,462
	28年-29年	2,734	2,733	2,653	2,631	2,587	2,553	2,608	2,675	2,645	2,583		2,640
	前年格差	451	384	401	376	238	158	153	136	▲109	▲62		178
和牛去勢A3	27年-28年	2,098	2,132	2,080	2,085	2,106	2,133	2,228	2,349	2,485	2,464	2,384	2,246
	28年-29年	2,514	2,525	2,393	2,356	2,371	2,322	2,372	2,411	2,261	2,304		2,383
	前年格差	416	393	313	271	265	189	144	62	▲224	▲160		137
交雑去勢B3	27年-28年	1,654	1,693	1,672	1,703	1,707	1,717	1,746	1,751	1,789	1,723	1,675	1,711
	28年-29年	1,742	1,719	1,710	1,755	1,754	1,742	1,760	1,754	1,760	1,710		1,741
	前年格差	88	26	38	52	47	25	14	3	▲29	▲13		30

群馬県食肉卸売市場上場頭数・全国と畜頭数

(単位：頭)

年・月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・計
27年-28年		1,085	946	907	1,151	871	1,004	1,084	1,390	1,321	966	1,009	1,091	12,825
28年-29年		1,109	778	745	903	791	974	867	1,114	1,272	808			9,360
前年格差		24	▲ 168	▲ 162	▲ 248	▲ 80	▲ 31	▲ 218	▲ 276	▲ 50	▲ 158			▲ 3,466
全国 と畜 頭数	26年-27年	99,464	91,001	90,327	102,267	88,474	95,800	105,092	110,615	109,345	85,310	85,824	92,201	1,155,720
	27年-28年	95,755	83,324	89,621	98,748	84,388	88,223	95,304	106,249	102,271	79,030	82,811	85,067	1,090,791
	28年-29年	87,263	81,394	83,538	90,633	83,592	86,545	88,445	104,062	96,246				801,718
	前年比	91.1	97.7	93.2	91.8	99.1	98.1	92.8	97.9	94.1	0.0	0.0	0.0	73.5

■素牛動向

①和牛子牛	(去勢) 920千円平均(前月比99%)	(雌) 798千円平均(前月比100%)
②F1価格	(去勢) 495千円平均(前月比102%)	(雌) 400千円平均(前月比100%)
③乳牛素牛	(去勢) 230千円平均(前月比110%)	
2月道産肉用乳素牛取引基準価格：750円/kg(前月価格据置き)		

養豚情勢

枝肉相場関係

豚肉相場は小幅上げ。

群馬県食肉卸売市場（上物加重・円/kg）

（単位：円税込）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
26年-27年(A)		553	582	621	580	548	548	517	569	609	547	588	565	569
27年-28年(B)		569	535	565	613	615	530	471	481	531	472	525	490	533
28年-29年(C)		492	560	603	557	499	526	483	508	518	501			525
(B-A)		16	▲47	▲56	33	67	▲18	▲46	▲88	▲78	▲75			▲36
(C-B)		▲77	25	38	▲56	▲116	▲4	12	27	▲13	29			▲8

豚肉価格形成要因

群馬県食肉卸売市場と畜頭数

（単位：頭）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間頭数
と畜頭数	27-28年	41,752	37,407	39,299	40,863	35,998	42,383	45,504	42,052	43,542	40,885	40,178	42,107	491,970
	28-29年	40,481	35,948	37,630	35,502	37,818	39,656	40,977	43,339	43,106	41,406			395,863
前年比(%)		97.0	96.1	95.8	86.9	105.1	93.6	90.1	103.1	99.0	101.3			80.5

肉豚生産出荷予測（全国） ※12月まで実績／12月以降の出荷予測は

12月22日付農水省畜産部食肉鶏卵課発表による

（単位：千頭、前年同月比%）

区分	月	4月～6月	7月	8月	9月	7月～9月	10月	11月	12月	10月～12月	1月	2月	3月	1月～3月
全国出荷予測頭数(千頭)		3,985	1,250	1,327	1,359	3,936	1,372	1,462	1,482	4,316	1,417	1,377	1,464	4,258
前年同月比(%)		102	94	111	102	102	95	104	100	100	105	101	101	102

■生産動向：農水省食肉鶏卵課の肉豚生産出荷予測によると、2月の出荷見込頭数は1,377千頭（前年同月比101%）となっている。その後は3月1,464千頭（〃101%）と予想されている。

鶏卵情勢

鶏卵相場関係

■Mサイズ基準値

平成29年1月200円（見込み）96%（前年比）

（単位：円）

価格の推移

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
27年-28年(A)		227	230	223	213	219	247	250	252	255	182	209	215	227
28年-29年(B)		215	204	197	184	180	192	211	231	245	178			204
(B-A)		▲12	▲26	▲26	▲29	▲39	▲55	▲39	▲21	▲10	▲4			▲23
全国基金	27-28年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13.005	0	0	
補填	28-29年	0	0	0	6.093	7.092	0	0	0	0	17.118			

■価格動向：1月の平均単価は178円（前年同月▲4円）となった。2月は引き合い強く堅調。

■出荷動向：年末年始に生産調整した鶏が復帰し、増加傾向。

■需要動向：中国の春節でインバウンド増によるの外出需要や、節分・バレンタイン等の加工需要で引き合い強い。

卵価要因

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
加工卵輸入	27-28年	2,449	1,888	2,307	1,979	1,803	1,794	2,574	2,196	2,476	2,352	2,086	2,042	25,946
実績(t)	28-29年	2,025	1,667	1,721	1,414	2,007	2,342	2,090	2,148					15,414
前年比(%)		82.7	88.3	74.6	71.5	111.3	130.5	81.2	97.8	0.0	0.0	0.0	0.0	59.4
餌付羽数	27-28年	7,872	8,422	8,640	8,375	7,263	8,244	8,418	7,716	8,547	7,765	8,075	8,711	98,048
(千羽)	28-29年	8,217	8,805	8,777	8,091	8,201	8,966	8,682	8,005	8,681				76,425
前年比(%)		104.4	104.5	101.6	96.6	112.9	108.8	103.1	103.7	101.6	0.0	0.0	0.0	77.9

■価格の推移

- (1) 20年度：193円 (2) 21年度：175円 (3) 22年度：194円 (4) 23年度：188円 (5) 24年度：181円 (6) 25年度：207円 (7) 26年度：216円 (8) 27年度：227円

■原料情勢

①とうもろこし(シカゴ定期)

1月12日発表の米国農務省需給見通しでは、米国とうもろこしの2015/16年産について、供給量は15,401百万ブッシェル(前月発表15,400百万ブッシェル)とほぼ据置で見通された。需要量においても13,664百万ブッシェル(前月発表13,662百万ブッシェル)とほぼ据置で見通された。

2016/17年産について、作付面積は94百万エーカー(前月発表94.5百万エーカー)、単収は174.6ブッシェル/エーカー(前月発表175.3ブッシェル/エーカー)と共に微減で見通され、供給量全体として16,940百万ブッシェル(前月発表17,013百万ブッシェル)で見通された。需要面については、エタノール需要が堅調である為、工業・種子需要が25百万ブッシェル上方修正されたものの、飼料需要が50百万ブッシェル下方修正された。その為、全体では14,585百万ブッシェル(前月発表14,610百万ブッシェル)の見通し。

シカゴ定期は、1月12日発表の米国農務省需給見通しでは、需要面・供給面での大きな変化はなかった。その為、相場への影響は限定的で、方向感なく推移している。

②大豆粕

1月12日発表の米国農務省需給見通しによると、米国大豆の2016/17年産について、単収が52.5ブッシェル/エーカーから52.1ブッシェル/エーカーに減少し、生産量の減少から供給量が4,588百万ブッシェルから4,528百万ブッシェルに減少した。需要量については前月発表から変更なく、4,108万ブッシェルとなった。期末在庫については420百万ブッシェル(前月480百万ブッシェル)、在庫率10.22%(前月11.68%)となった。

今後のシカゴ定期は、生育期を迎えた南米の天候、投機筋のポジション動向、および中国を中心とした消費国の需要動向に影響されながら推移すると見込まれる。

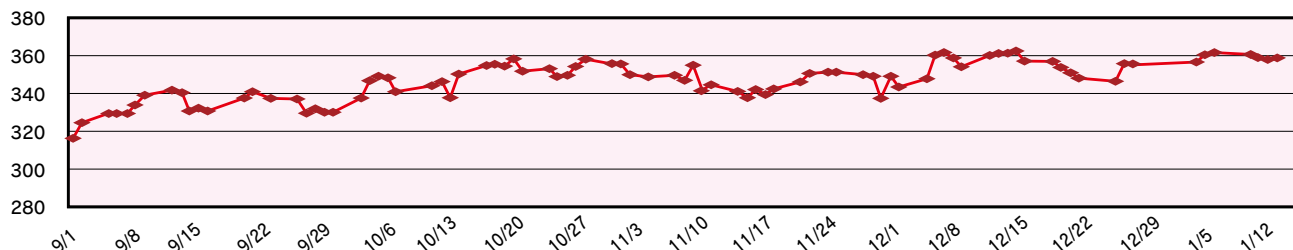
■海上運賃

主要産油国の減産調整を受けて原油相場が50ドル/バレル台で推移しているものの、年末年始の影響で備船需要が緩和されたことから海上運賃は軟調に推移していた。

しかし年が明けて中国向け南米産大豆輸送の引き合いが出始めたことから上げ基調に転じている。

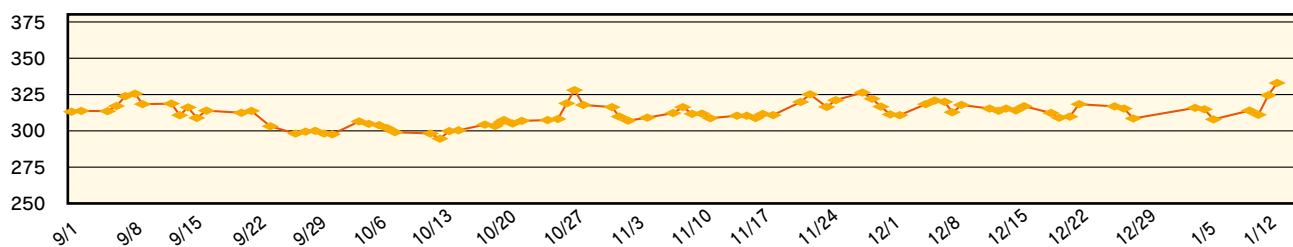
セント/ブッシェル

トウモロコシ 期近限月



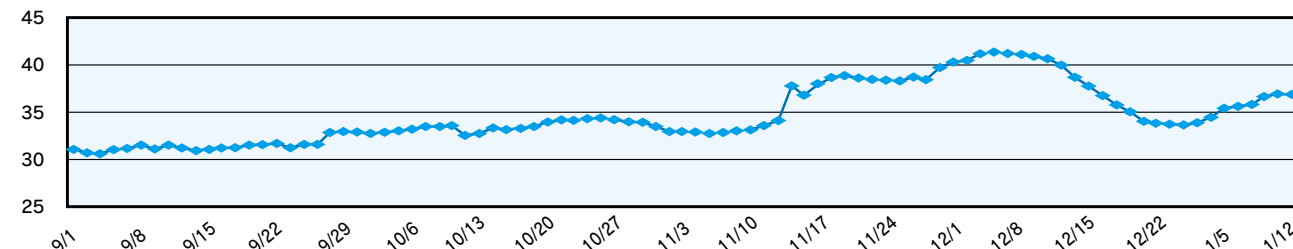
ドル/米トン

大豆粕 期近限月



ドル/トン

【海上運賃】



花木流通センター便り

花木流通センターの耳寄りな情報をお届けします！

花木流通センター・ 愛菜館 大創業祭開催!!

日頃の感謝の気持ちを込めて、
お得な商品や楽しいイベントが盛りだくさん☆

愛菜館16周年大創業祭

日時 3月4日(土)・5日(日)

内容

- 群馬県食肉卸売市場 上州牛・上州麦豚試食販売
- JA高崎ハム(株)試食販売
- 全農パールライス試食販売
- JAはぐくみ 味噌汁無料配布
- みそ詰め放題 など

花木流通センター42周年大創業祭

日時 3月17日(金)～20日(月)

- 群馬県食肉卸売市場 上州牛・上州麦豚試食販売
- JA高崎ハム(株)試食販売 など

3月の売出し・イベント案内

色々な売出しやイベントが目白押し。ぜひお出かけください!

開催日	内容
3月4日(土) 3月5日(日)	愛菜館16周年大創業祭
3月5日(日) 10:00～	じゃがいも栽培講習会& 管理機実演即売会 【参加費無料・申込み不要】
3月12日(日) 10:00～	肥料の基礎知識講習会& 管理機実演即売会 【参加費無料・申込み不要】
3月17日(金) ～20日(月)	花木流通センター 42周年大創業祭
3月25日(土) 10:00～	栽培講習会(里芋・生姜・ トウモロコシ・枝豆・落花生)& 管理機実演即売会 【参加費無料・申込み不要】

※売出し・イベントの日程・内容は変更になる場合があります。

KABOKU 花木流通センター

営業時間:年中無休/9:00～18:00

(節電のため7月～2月毎週火曜日定休)

取扱商品

■園芸資材館/営農・園芸資材等 ■ふらわーらんど/鉢花、花苗等 ■JA植木コーナー/緑花木、盆栽等 ■エクステージ/外構・造園工事等 ■ブランド野菜館/産直野菜、農産加工品等 ■外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等



お問い合わせ先

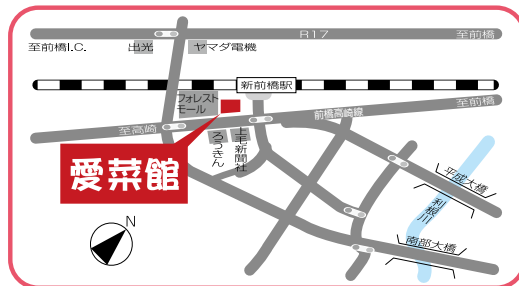
前橋市亀里町1307-1
TEL:027-220-2427
FAX:027-220-2424

やさいひろば JA直販 愛菜館

営業時間:毎週火曜日定休/9:00～18:00

取扱商品

■産直野菜
農産加工品/店頭精米等



お問い合わせ先

前橋市古市町106-1
TEL:027-210-7788
FAX:027-210-9811

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて

『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

《あて先》

〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番

JA全農ぐんま「県本部通信」係まで

E-mail: info-gunma@gm.zennoh.or.jp

※JAメール等でも結構です。

プレート
キャンバスに
見立てて

Art Cooking

Food adviser - 石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。



下仁田ネギとパプリカのわさび風味

材 料

2人分 (1人分151cal)

下仁田ネギ 4本
赤パプリカ 1/2個
黄パプリカ 1/2個
ローズマリー 適量
ウインナーソーセージ 2本
オリーブオイル 大さじ2
醤油 大さじ1
練りわさび 小さじ1弱

作り方

- 1 下仁田ネギは根と葉を切り落とす。
- 2 赤・黄パプリカは5mm角に切る。
- 3 ローズマリーはみじん切りにする。
- 4 1のねぎをしんなりするまでグリルで焼き、1cm幅に切る。
- 5 ウインナーソーセージは5mm幅に切り、フライパンで乾煎りする。
- 6 ボウルに上記の材料を入れる。
- 7 別の器にオリーブオイル・醤油・練りわさびを入れよく混ぜ合わせる。
- 8 6のボウルに7のわさび醤油を入れ混ぜ、味を調えたら器に盛る。